

第28回 市政e-モニターアンケート 「鎌倉市の景観形成に関する市民意向について」 最終結果

【テーマ】 鎌倉市の景観形成に関する市民意向について

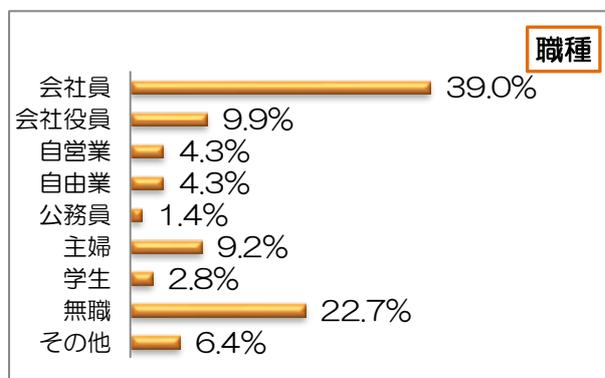
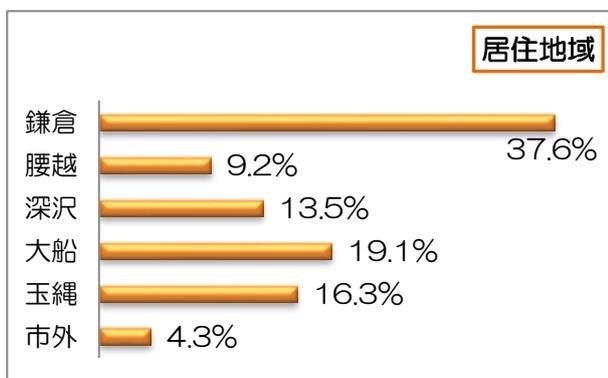
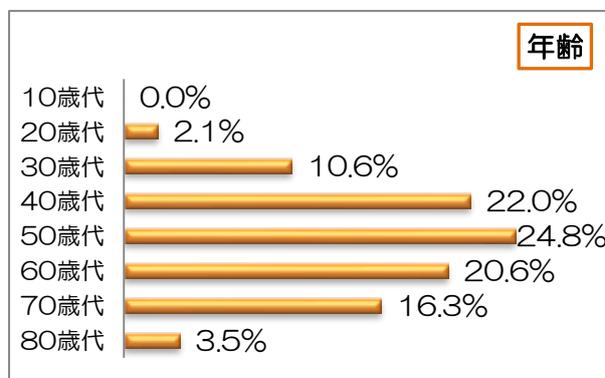
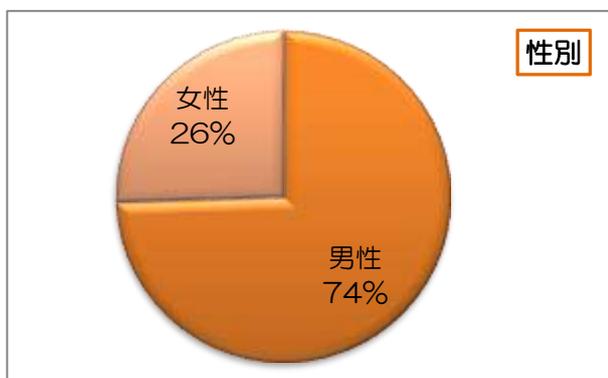
【目的】 平成16年に国が制定した景観法を契機に、市では、それまでの取り組みをもとに、市民・NPO・事業者・行政の協働による良好な都市景観の形成を目指し、平成19年1月に景観計画を策定しました。

来年度でこの景観計画策定から10年が経過します。皆さまの景観に対する意識やまち並みの変化に対するご意見、また、今後の景観形成の取り組みについてのご意見をお聞きします。ご協力をお願いします。

- ◆ アンケート送信日 : 平成27年10月1日 (木)
- ◆ 実施期間 : 平成27年10月1日 (木) ~ 平成27年10月15日 (木)
- ◆ 送信者数 : 348名 (着信者数 342名)
- ◆ 回答者数 : 141名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 41.2% (前回より +3.4ポイント)



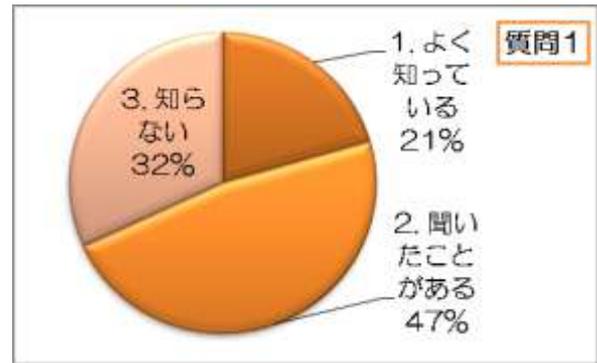
【今回の回答者の基本属性】



1- 景観に関する市の取り組みについて伺います。

【質問1】(必須) 市では、景観法の制定を受け、平成19年1月に「鎌倉市景観計画」を策定し、鎌倉らしい景観形成に取り組んでいることをご存じですか。

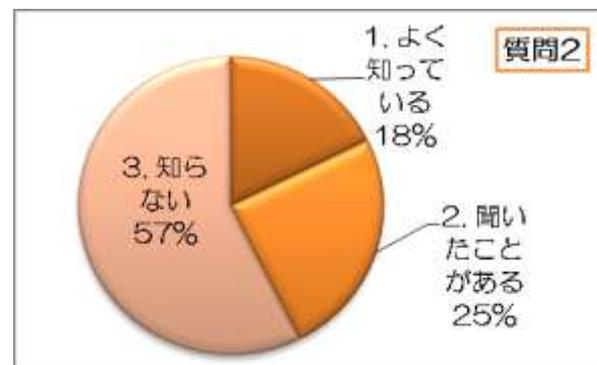
1. よく知っている	29 名
2. 聞いたことがある	67 名
3. 知らない	45 名



【都市景観課から】鎌倉市景観計画については、全体の約7割の方が「よく知っている」、「聞いたことがある」と回答されていることが分かりました。今後は、より多くの方に知っていただけるよう、普及・啓発に努めてまいります。

【質問2】(必須) 「鎌倉市景観計画」では、市域を21の区域に区分し、地区毎に景観形成の方針及び基準を定めていることをご存じですか。

1. よく知っている	25 名
2. 聞いたことがある	35 名
3. 知らない	81 名

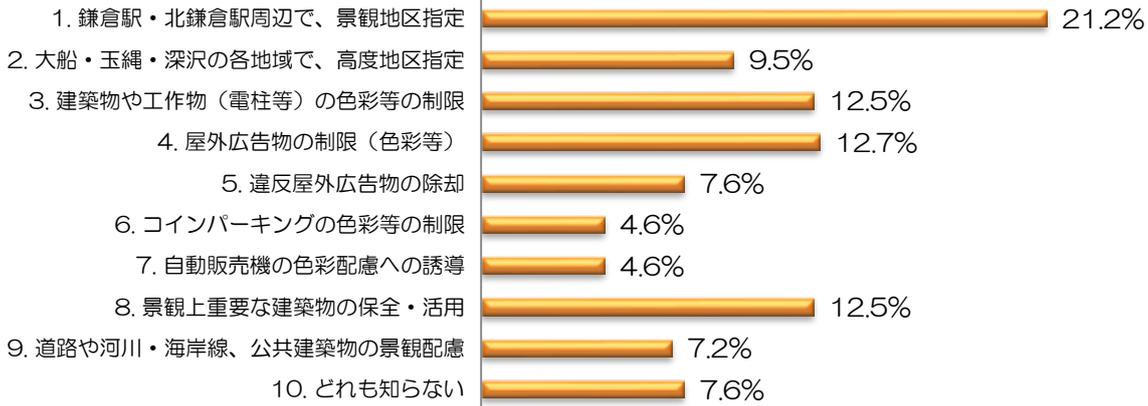


【都市景観課から】鎌倉市景観計画の中で、市域を21の区域に区分し、景観形成の方針及び基準を定めていることについては、全体の約6割の方が「知らない」との回答でした。21もの区域に区分しているのは、全国の景観計画でも少ないようです。詳細な方針や基準まで御理解いただくことは難しいものですが、地区毎の考え方や大まかな方針を知っていただけるよう、普及・啓発に努めてまいります。

【質問3】(必須)市では、景観に関する次のような取り組みを進めてきましたが、ご存じの取り組みをお答えください。

1. 鎌倉駅・北鎌倉駅周辺で、建築物の高さなどを制限するための景観地区指定	92 名
2. 大船・玉縄・深沢の各地域で、建築物の高さを制限するための高度地区指定	41 名
3. 建築物や工作物（電柱等）の色彩等の制限	54 名
4. 屋外広告物の制限（色彩等）	55 名
5. 違反屋外広告物の除却	33 名
6. コインパーキングの色彩等の制限	20 名
7. 自動販売機の色彩配慮への誘導	20 名
8. 景観上重要な建築物の保全・活用	54 名
9. 道路や河川・海岸線、公共建築物（学校等）の景観配慮	31 名
10. どれも知らない	33 名
合計	433 名

質問3



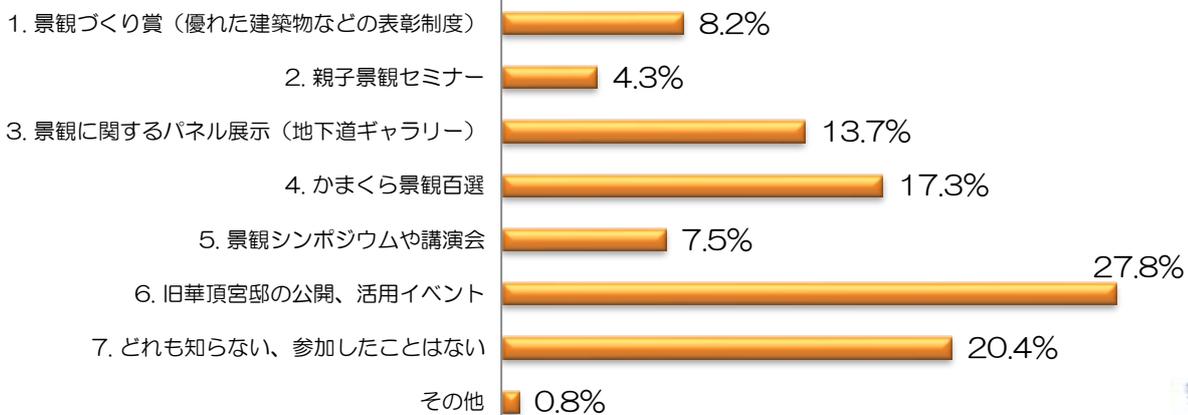
【都市景観課から】複数回答可の質問において、「景観地区指定」については、92名の方が「知っている」との回答でした。景観地区は区域が限定された規制であることを考えると、鎌倉市の景観施策の重要な要素である景観地区については、比較的多くの方に知っていただけていることが分かりました。また、屋外広告物やコインパーキング、自動販売機の色彩制限・誘導などは、徐々に取り組みを拡大しているものです。市民のみなさんの生活に身近に感じられるものであることから、今後も積極的に取り組んでまいります。

【質問4】（必須）市では、市民の景観に関する普及啓発として次のような取り組みを進めてきましたが、ご存じの取り組みまたは参加（訪問）されたことがある取り組みをお答えください。【複数回答可】

1. 景観づくり賞（優れた建築物や看板などの表彰制度）	21名
2. 親子景観セミナー	11名
3. 景観に関するパネル展示（地下道ギャラリー）	35名
4. かまくら景観百選	44名
5. 景観シンポジウムや講演会	19名
6. 旧華頂宮邸の公開、活用イベント	71名
7. どれも知らない、参加したことはない	52名
その他	2名
合計	255名

※「その他」の意見は、【質問13】へ集約します。

質問4

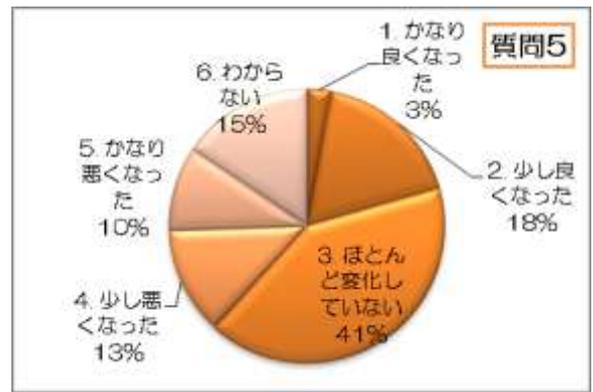


【都市景観課から】複数回答可の質問において、「旧華頂宮邸の公開、活用イベント」については、71名が「知っている、参加したことがある」との回答でした。今後とも、市民のみなさんの景観に対する興味・関心が高まるようなイベント等を検討してまいります。

2-市の景観の変化について伺います

【質問5】(必須) 鎌倉駅周辺地域の景観は、過去10年以内にどのように変化したと感じていますか。

1. かなり良くなった	4名
2. 少し良くなった	25名
3. ほとんど変化していない	58名
4. 少し悪くなった	18名
5. かなり悪くなった	14名
6. わからない	22名



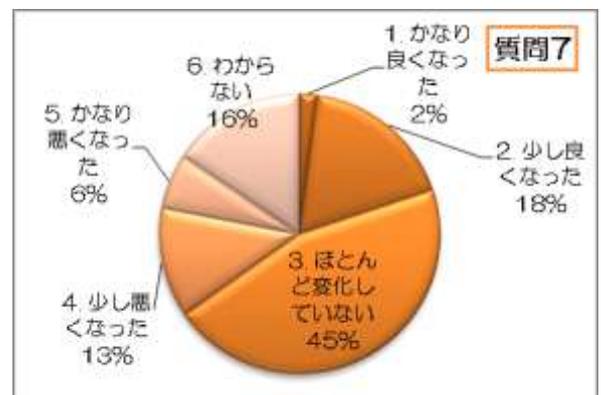
【質問6】(必須) 大船駅周辺地域の景観は、過去10年以内にどのように変化したと感じていますか。

1. かなり良くなった	7名
2. 少し良くなった	34名
3. ほとんど変化していない	45名
4. 少し悪くなった	12名
5. かなり悪くなった	17名
6. わからない	26名



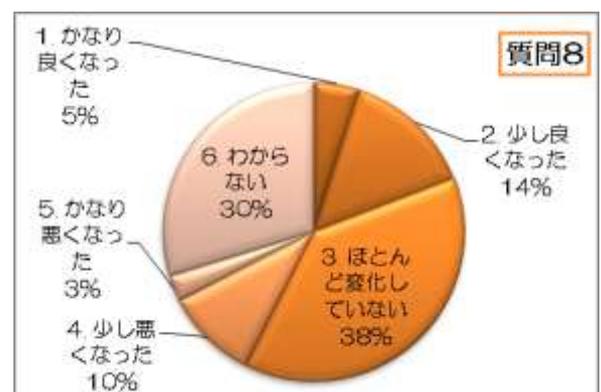
【質問7】(必須) 海岸線沿い(国道134号線)の景観は、過去10年以内にどのように変化したと感じていますか。

1. かなり良くなった	3名
2. 少し良くなった	25名
3. ほとんど変化していない	64名
4. 少し悪くなった	18名
5. かなり悪くなった	9名
6. わからない	22名



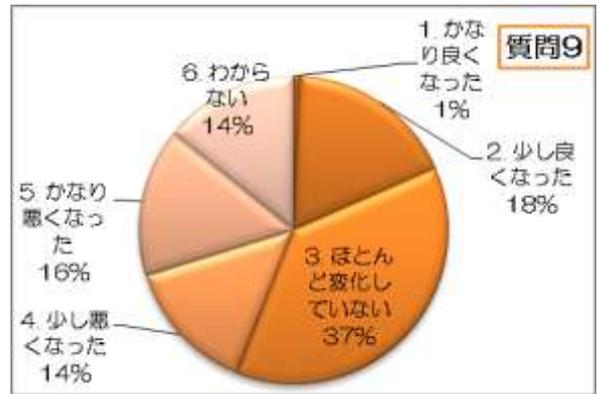
【質問8】(必須) 河川沿い(柏尾川や砂押川等)の景観は、過去10年以内にどのように変化したと感じていますか。

1. かなり良くなった	7名
2. 少し良くなった	20名
3. ほとんど変化していない	54名
4. 少し悪くなった	14名
5. かなり悪くなった	4名
6. わからない	42名



【質問9】(必須) 市の景観は、過去10年以内にどのように変化したと感じていますか。

1. かなり良くなった	1名
2. 少し良くなった	25名
3. ほとんど変化していない	53名
4. 少し悪くなった	20名
5. かなり悪くなった	22名
6. わからない	20名



【都市景観課から】過去10年間の景観の変化については、地域に限らず「ほとんど変化していない」が一番多い回答でした。

景観は今を維持・保全することも重要です。大きな変化を感じないことは、ひとつの成果でもあります。大船駅周辺や河川沿いは、「良くなった」という回答が「悪くなった」を上回る結果となりましたが、鎌倉駅周辺や市全体では、「良くなった」よりも「悪くなった」の回答が多くなっています。これからの景観施策に活かしていきたいと思います。

【質問10】景観が良くなった(悪くなった)場所(通りやエリア)とその変化について、具体的なご意見をお聞かせください。

【良くなった場所と変化】

【由比ヶ浜通り】	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観に配慮されてお店が変わった ● 大部整備されてきた
【腰越地域】	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然保護や景観保護が進み、景観の美しさを維持していると思う
【小町通り】	<ul style="list-style-type: none"> ● 電線地中化により電柱が撤去されすっきりした
【柏尾川】	<ul style="list-style-type: none"> ● きれいになった
【大船駅周辺】	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模な工事によって、西口は、景観が幾何学的に良くなったと思う ● かつての代ゼミ通りは芸術館通りと名前を変えて劇的に良くなった
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ● 武道館周辺・JR駅周辺が整備されよくなった ● 鎌倉のような街が、「ほとんど変化していない」こと自体は、景観的に大切なものが守られていること、と感じます。

【悪くなった場所と変化】

【鎌倉駅周辺】	<ul style="list-style-type: none"> ● 増え続けている観光客の通行量で、酷い景観を呈している ● 御成通りは旧態依然、もっとまちづくりへの高いレベルを
【若宮大路】	<ul style="list-style-type: none"> ● 若宮大路の両サイドは都市化の波に押されている。押されてもデザインを考慮すれば鎌倉の景観は維持できると思います、せめて警察や消防署・学校などの公的建物はそうすべきと思う。外観の問題ですからこれから手直しも可能と思います。 ● 桜の木の老化？で工事中ですが人工的な道になるのを危惧しています。
【小町通り】	<ul style="list-style-type: none"> ● 派手なお土産店ができ、落ち着かない通りになった ● 相変わらず違法屋外広告物が目立ち、ルールを守り、自ら、あるいはみんなで美しい景観をつくらうという気概も感じられない
【二階堂】	<ul style="list-style-type: none"> ● 大蔵幕府址付近に高層のマンションができたこと。荏柄天神からの景観も、お宮通り入口からの景観も全く損なわれてしまった。武家の屋敷跡でもあった場所をあのよう破壊してしまうことには驚いた。景観には史跡保全も含まれてしかるべきと考えます。
【長谷】	<ul style="list-style-type: none"> ● 長谷観音から大仏迄の歩道、通行量に比して狭いし汚い
【大町・材木座】	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅地に同じような外観の密集型のアパートが増え鎌倉らしさがなくなった

【由比ガ浜】	<ul style="list-style-type: none"> ● 江ノ電から海岸までのいわゆる旧市街地において、集合住宅が乱立し、しかも、統率がとれていない（指導が甘い、規制力が無い）ため雑多な風景となっている。緑化も見当たらない。常に何らかの建築工事をしている印象である。特に世界遺産への取り組みを一時撤退した直後にモラルが外れた如く…の印象である。
【海沿い】	<ul style="list-style-type: none"> ● 134号線、コンセプトがはっきりしていなくて、建物がバラツキが多くきれいに感じないし、富士山と海、江の島とマッチしない家が建ってる。プチハワイにしたいのか、漁村にしたいのか、ただの宅地にしたいのか不明。
【腰越】	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少が進み空き家が増加するなかで、例えば「腰越の丘」のような自然破壊的中規模開発を許可する市の姿勢に首を傾げざるを得ない。開発後は確実に景観が悪化している。
【大船】	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発の進む大船地域については、マンションが多く建設されているため、昔に比べると景観が悪くなっている。 ● 駅周辺のパチンコ店、飲み屋系の店の多さは驚きます。駅前の葬儀場にもひくものがあります。 ● 駅西口の歩道橋は、大変便利になったが、景観面では失ったものが大きい。
【玉縄・関谷】	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅建設による自然破壊。空き家や空き地があるのだから、不要な破壊は景観を壊すだけ。鎌倉市は鎌倉中心部以外に対して関心が薄いように感じる
【深沢】	<ul style="list-style-type: none"> ● 深沢中学周辺の緑の回廊が、校地内の立木を含めて、すごい勢いで失われた。
【全体】	<ul style="list-style-type: none"> ● 電柱と電線を早急に地下へ。それこそが景観を台無しにしている。 ● 道路沿いに張られているケーブルの本数の増加が激しい。（電力、光、テレビその他）しかも張り方が場所によって汚らしい状態が多々ある。幹線道路や観光施設付近ではケーブルを地下に敷設すべき。コンビニの数が多いし店舗の外観が派手。これでは古都鎌倉を標榜する資格もないし、ましてや世界遺産登録など笑止です。 ● 緑が少なくなった。古木が虫食い等で悲惨。 ● 主要道路沿いにコインパーキングが多くなり、店舗が並んでいた景観から車が並んでいる景観へと悪化しているように感じる。 ● 看板・広告の色彩が鎌倉の地にふさわしく無い。無計画な看板が多すぎる。 ● 道路に空缶やゴミ、吸殻の投棄が増えてきている気がする。 ● 鎌倉の趣が感じられなくなった。 ● 歴史の町ではなく、観光地・商業の街になったような気がする。休日・日中の芋の子を洗う様な規制の効かない賑わいと夜間8時以降の静まり返った雰囲気との格差に違和感を覚える。 ● ごみの集積場所が目立つ。

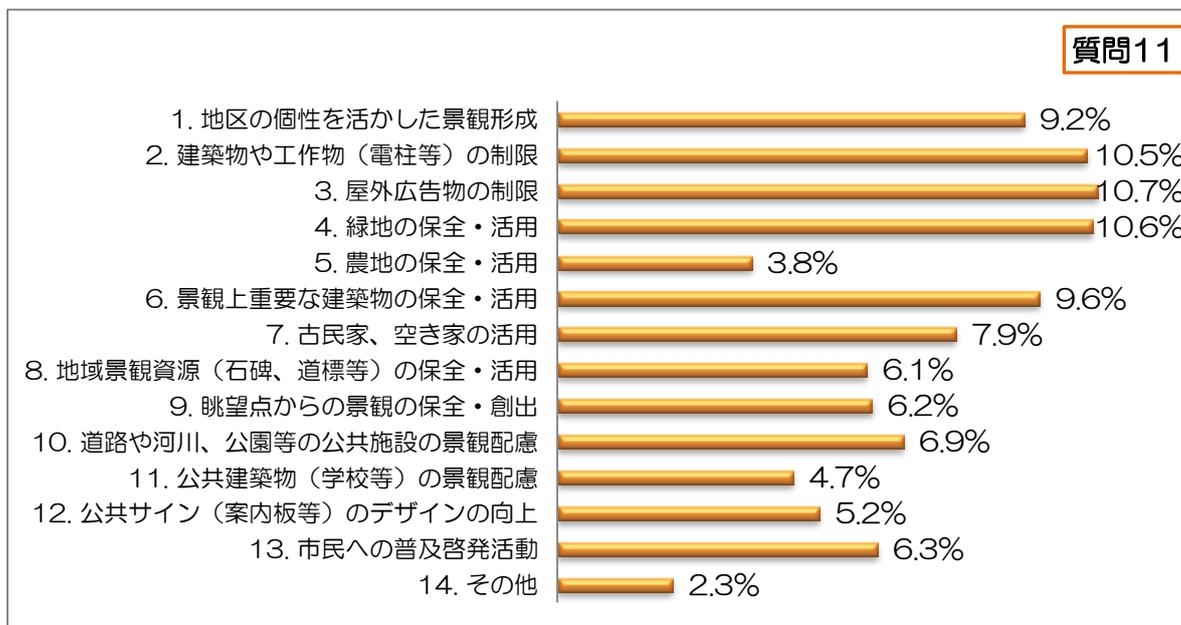
【都市景観課から】「良くなった」、「悪くなった」と多くのご意見をいただきました。今後の景観施策に活かしていきたいと思えます。



3-今後の景観形成の取り組みについて伺います

【質問11】（必須） 今後、鎌倉らしい景観形成を推進するため、次のうちどのような施策を強化するとよいと思いますか。

1. 地区の個性を活かした景観形成	89名
2. 建築物や工作物（電柱等）の制限	101名
3. 屋外広告物の制限	103名
4. 緑地の保全・活用	102名
5. 農地の保全・活用	37名
6. 景観上重要な建築物の保全・活用	92名
7. 古民家、空き家の活用	76名
8. 地域景観資源（石碑、道標、シンボルツリー等）の保全・活用	59名
9. 眺望点（優れた眺めのある場所）からの景観の保全・創出	60名
10. 道路や河川・海岸線、公園等の公共施設の景観配慮	66名
11. 公共建築物（学校等）の景観配慮	45名
12. 公共サイン（案内板等）のデザインの向上	50名
13. 市民への普及啓発活動	61名
14. その他	22名
合計	963名



※「その他」の意見（同様の御意見は集約しています）

【歴史的景観の保全・活用】	<ul style="list-style-type: none"> 大きな枠組みで、ランドスケープを考えて、観光客の動線、生活者の動線を考えた道づくり、古道の復活など、鎌倉の歴史や品格をないがしろにしないような景観を残してほしい。せっかく鎌倉時代という歴史的に重要な土地なのだから、鎌倉市全体をコーディネートするぐらいのプロジェクトでお願いしたい。点々と保全しても循環しない
【市全体の美化（美観）】	<ul style="list-style-type: none"> 景観以前の課題として鎌倉市（道路、河川、空き地、公園等）の美化へも注力要と思います 慢性化した交通渋滞は、古都鎌倉の景観を悪化させています。市民の自己満足ではなく広く愛される鎌倉に軸足を置いては如何でしょうか？
【自然景観の安全・保全】	<ul style="list-style-type: none"> 建物等近代構築物の保全は弾力的な運用が良いが、自然景観等の破壊は徹底的に制限する。例えば北鎌倉駅裏の切り通しや好々洞周辺の崖地など、現況を破壊しない安全対策・保全対策を実施する

【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉市の品格をどのようにするかを考え、全体的な見直しが必要と思う ● JR横須賀線の地下化 ● 市外の人への周知 ● 長期ビジョンのランドデザインをコンペなどで広く市民に知らせたらどうか？ ● 市街地内緑化の増強・新規拡大。空き地の活用と緑化。
-------	--

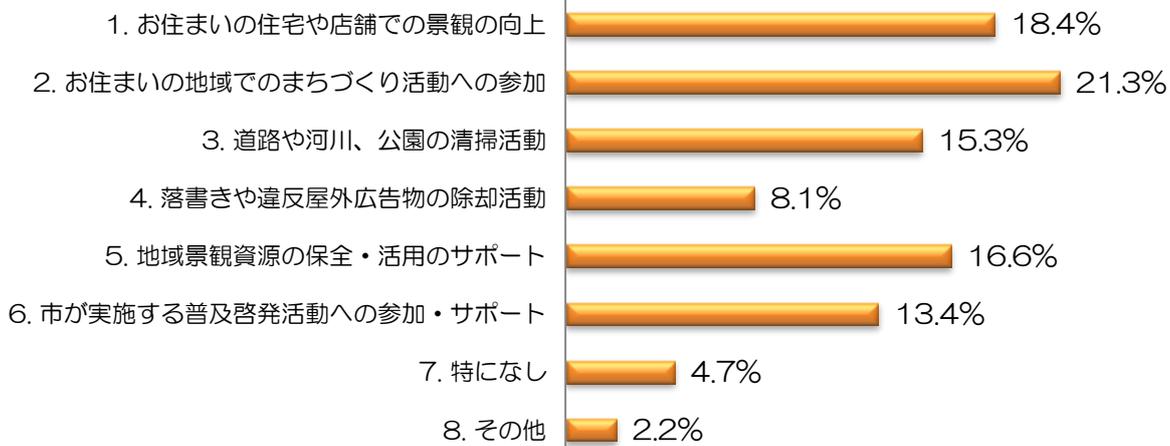
【都市景観課から】施策の強化については、「建築物や工作物の制限」、「屋外広告物の制限」など、制限を望む回答が多い結果となりました。
また、「緑地の保全・活用」が多いことも特徴的であると言えます。



【質問12】（必須）あなたは、今後、景観形成にどのように関わっていきたいと考えますか。該当するもの全てをお答えください。【複数回答可】

1. お住まいの住宅や店舗での景観の向上	59 名
2. お住まいの地域での景観に関するまちづくり活動への参加	68 名
3. 道路や河川、公園の清掃活動	49 名
4. 落書きや違反屋外広告物の除却活動	26 名
5. 地域景観資源の保全・活用のサポート	53 名
6. 市が実施する普及啓発活動への参加・サポート	43 名
7. 特になし	15 名
8. その他	7 名
合計	320 名

質問12



※「その他」の意見（同様の御意見は集約しています）

- 仕事上の経験を生かして、提言・提案を行いたい
- 市で考案、検討された景観形成のスタンス、決まりを順守する。
- 出来る限りの参加を考えているので、活動している組織や活動内容が知りたい。



【都市景観課から】景観形成への関わりについては、「特になし」との回答は15名であり、多くの方が関わりについて積極的な考えをお持ちであることが分かりました。

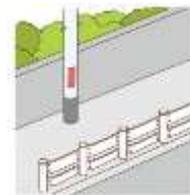
【質問13】

今後の景観形成の取り組みについて、ご意見がありましたらご記入ください。

※多かった意見を提示し、同様のご意見は集約しています。

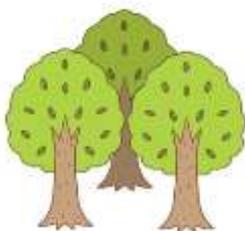
<p>【政策の進め方】 ※法/条例/定義/コンセプト</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観保全と市民生活の利便性、偏ることなくバランス良い政策を ● 景観は道路計画に密接に連携する、行政の権限でしっかり制限をかける対応を ● 業務の縦割りではなくプロジェクト化した方がよい。100年後も残したい景観を創造することも必要なのでは ● 景観「保護」ではなく、景観「形成」であることを徹底し、変えていただきたい。現実にできることから進めるべき ● 「景観」の定義を明確にしてから取り組むべき ● 景観形成の基本的な方向性（コンセプト）が見えない。観光地としてなのか、商業地として観光客目当てなのか、古都鎌倉の住宅地としてなのか、市民全体でのコンセンサスがとれていないのでは？ ● 大規模開発に対する規制力を強化されたい ● 歴まち法の理念を鎌倉市全域に導入して、点から面への取り組みを ● 住民目線・観光客目線の鎌倉らしい景観とはどういうものかの議論は必要だが、自然発生的景観と計画的景観のけじめをつけて先手を打つべき ● 規制は必要かもしれないが、各案件に柔軟に対応することが大切かと思う
<p>【鎌倉らしいまちづくり】 ※自然景観/歴史的景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 古都鎌倉をアピールするなら、かなりの鎌倉特有の規制をする必要がある ● 歴史的建造物やその遺跡については、基本的に厳格に保護するという姿勢を明確に打ち出してほしい ● 古都鎌倉らしい景観を活かして、かつ、新しい技術を取り入れ、訪れた人が街の風景に感動するような街になって欲しい ● 人口構築物に金を掛けず、鎌倉の主体である自然景観の保全・維持に金を掛ける ● 残存緑地の保全のみでなく、積極的に緑を増加させ、緑化を拡大・増強されたい ● 清潔な街のイメージを高める景観づくりを望みます ● 既存宅地の緑化を義務付け、景観を阻害し防災面でも危険なミニ開発を阻止する ● 古民家の積極的活用の検討をお願いしたい
<p>【道路・美化】 ※電柱/広告物/標識など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 美観、景観地区の強化をよりしても良い ● 道路渋滞等は、かなり景観・雰囲気を損ねているように感じる。駐車場を街の外側に限定する等、景観形成だけに特化せず様々な問題要因と合わせて政策すべき ● 電線地中化、広告看板（ポスター含む）の規制を積極的に取り組んでもらいたい ● 案内サインの間違が多い。旧鎌倉地区とそれ以外の地区でサインの統一を ● 自動販売機が景観を乱している。設置について規制強化されたい ● 景観を壊す交通標識の位置の変更。建造物の外観の色やデザインの統一 ● 鎌倉駅周辺の景観を見直してもらいたい。観光客相手の景観改善もいいが、住宅地での営業・環境破壊の店舗を規制、ビルの高さ制限、美化等が必要
<p>【周知・意識】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉市の情報発信が少ない。景観に関する市の取り組みを具体的に「広報がまくら」などを通じて、もっと知らしめて欲しい。景観について取り組んでいるとは知らなかった ● 市が景観についての取り組みを具体的に示し、市民に周知した上で、市民の意見を集約する必要を感じます ● 住宅にしろ商店にしろ、どのような形態・配色が推奨されるのか示されれば、自宅の改修工事の際にはできる範囲で配慮したいと思う ● 「景観計画」に合致した建築物等が具体的にどれなのか知りたいし、民間のものであれば推奨すべきだと思う ● 市民の意識向上のための取り組みを継続してほしい。市民主体で景観保全出来る取り組みを進めたい。市民の意識改革で町をよくする
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 検討が長すぎて実行が遅い。景観が良くなったところを知らない ● 時代の流れによって、価値が変わる。鎌倉らしさというよりも、歴史的（鎌倉時代と明治時代）場所としての違った言葉でのイメージ作りが必要 ● 屋根の色彩制限の考えは変更すべき。電力の節約困難な環境保護は理解できない

- 小袋谷～鎌倉までのJR地下化は景観の向上だけでなく、災害対応・渋滞改善としても非常に有効
- 無意味な石碑をあちらこちらに建てるのをやめるべき
- 滑川をきれいにしてほしい、親水の河原をたとえ狭くても設けたらよい
- 高野台～六国見山に登る道が整備されたが、今後、腐って邪魔になる前に取り換えを。また、至るところでメンテナンスが行き届いてないケースがあると思う
- 他市町村に比較し、観光都市でありながら鎌倉の美観景観は守られている感じ



【都市景観課から】今後の景観形成の取り組みについて、非常に多くのご意見をいただき、大変ありがとうございました。

いただきましたご意見については、今後の景観行政に活かしていくとともに、景観計画の見直しのひとつの貴重な資料として取り扱いさせていただきます。



【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2505

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp